

子どもの保健の基盤を強化する栄養

「栄養への取り組みの拡充は重要です。栄養不良をなくし、何百万もの子どもたちの命を救うために私たちはともに行動を起こさなければなりません。」

ワールド・ビジョン・インターナショナル総裁 ケビン・ジェンキンス

栄養への取り組み拡充において、子どもたちと家庭、地域に焦点を当てる

世界の保健分野の大きな課題の1つである子どもの栄養不良を解決するために、私たちは今までにない機会を得ています。すべての子どもたちが十分な栄養を提供できないということは、単に非人道的であるだけでなく、生存の権利という最も基本的な子どもの権利を根本的に侵害していることとなります。年間800万人の5歳未満の子どもたちが命を落とす直接的な原因の3分の1は栄養不良です。緊急かつ慢性的な課題を解決するため、ワールド・ビジョンは国家や国際機関、市民団体、地域社会、教育機関、企業とともに、栄養への取り組み拡充について全力で取り組んでいます。

栄養は子どもたちの健康と成長、地域社会と国にとって重要です。栄養不良が国家の成長に大きく影響することは実証されています。しかし、多くの国々では栄養不良が及ぼす影響についての知識に基づいて対策を取るための政治的意志と資源が未だ不足しています。栄養不良は、若い子どもたちの生産性や知能的な成長を弱らせ、病気、感染症、そして死をもたらすため、国の財政負担や成長の妨げとなります。

1990年以降、世界の子どもたちの栄養状態は改善されています。低体重の子どもたちの比率は1990年には25%でしたが、2010年には16%まで減少したと推定されています。また、低身長の子どもの5歳未満の子どもたちは同期間中に世界中で40%から27%に減少しました。しかし、1億400万人の子どもたちは、未だに低体重です。世界保健機構(WHO)によると、アフリカで低身長の子どもの数は1990年の4,500万人から2010年は6,000万人に増加しました。

世界的な景気後退や食料価格の高騰、気候変動、深刻な資源不足のため、栄養不良への世界的な取り組みは今後後退する恐れがあります。栄養への取り組みを拡大しなければ、飢餓をなくし、母親と子どもの保健を改善するというミレニアム開発目標(以下、MDGs)を達成するのは極めて困難でしょう。

子どもの栄養不良をなくすためには、政治的意志と家庭と地域さらに国、地方、世界レベルでの財源の増加と協働が必須です。あらゆるレベルにおいて、さらなる資源と成果に対するアカウンタビリティの強化が必要です。「栄養への取り組み拡充(Scaling Up Nutrition)」の取り組みは、特に栄養摂取が必要であるにもかかわらず立場の弱い妊娠中の女性と2歳未満の子どもたちの栄養を改善するために、幅広い関係者をあらゆるレベルで巻き込み、これらの取り組みを訴えることを目的としています。

女性の妊娠から子どもが2歳になるまでの1,000日間は絶好のチャンスであり、子どもの成長にとって極めて大切な時期です。この期間に栄養不良に陥ると、その影響は生涯に及びます。この重要な期間の身体と脳の発達や人格形成へ与える影響は大きく、その多くは後から取り戻すことができません。そして、この栄養不良の影響は何世代にも受け継がれてしまいます。母親の栄養不良は、母親が亡くなる危険性を高め、出生時の新生児の低体重にもつながります。低体重は、新生児の死亡原因の60%を占めています。たとえ生き残ることができたとしても、低体重の子どもたちは深刻な発育障がいにも陥ることがあります。

栄養不良の根本的な原因は一つではないため、家族は食料安全保障や水・衛生、教育、社会的保護、保健などの多くの分野からの支援が必要です。

栄養への取り組みの多くは保健システムを通じて実施できますが、政府の単一の省庁だけでは解決できない課題もあります。栄養不良をなくすためのプログラムでは、農業や教育分野への配慮も必要です。

栄養不良を改善するために複数分野の連携により対策を実施してきた国々の背景には、栄養の分野において高い政治的指導力のある人、献身的な議員、政府と民間で幅広く活動している代表の人々の存在があります。

保健と栄養を関連づけて取り組むためには、コミュニティの保健サービス活動に栄養の取り組みを含めることが、世界で最も貧しい家族たちのニーズに応え、世界的に持続的な栄養改善を確保するために重要です。最終的には、子どもたちとその家族の栄養改善は、ニーズが集中している家庭やコミュニティレベルで行わなければなりません。

重要な保健サービスと栄養への取り組みは、誰もが容易に使用できる場所で実施されなければなりません。そして、この取り組みは地域や国家レベルの保健システムを強化する方法により実施すべきです。母親と子どものために、良い栄養をもたらす保健システムを強化し、あらゆるレベルで人的・技術的能力を向上しなければなりません。またサービスの質と範囲をモニタリングし、見直すと同時に成果を測らなければなりません。これを実践すれば栄養不良への取り組みは各家庭と地域ごとに解決されるでしょう。

ワールド・ビジョンの役割

ワールド・ビジョンは栄養不良を減らすために貢献するにあたって良い立場にいます。必要性が最も高い家庭や地域に寄り添うと同時に、地方、国、世界レベルの政府や、その他の関係者たちと協働し、活動しています。栄養改善はワールド・ビジョンの根拠に基づいた国際保健と栄養戦略の柱です。また、私たちの支援地域では、保健や農業、教育などの分野でも栄養に配慮した開発をすることが良い成果をもたらすことが明らかになっています。更に大きな成果をもたらすために、調査やアドボカシーを行い、他の関係者と協働しています。

提言

子どもの栄養不良は緊急課題です。そして、私たちには改善するための知識と手段があります。栄養改善や子どもたちの命を救うことに大きく貢献する国内の改革を、すべての関係者が支持するよう、ワールド・ビジョンは以下5点を要求します。

- 子どもの栄養不良についての関心を高め、問題を解決するために、あらゆるレベルにおいて、成果を出している栄養改善の取り組みを確認し、その取り組みを支援する
- 国や地域の予算において、総合的な栄養対策パッケージのために適切な資源と約束が確保される
- 地域レベルのデータの収集とそのデータの反映を重視した明確な目標、及び、モニタリングと評価を通じて、子どもの栄養不良をなくすための結果に対する責任を持つ
- 保健、教育、農業、財政の分野、及び、市民社会など子どもの栄養不良を解決するために関係するすべてのグループの代表を集めたグループを設立、または、強化する。これらのグループは国、地方、地域レベルで設立される必要がある
- 家庭や地域レベル、あるいはそれに近いレベルで、十分な人材や技術的能力が確保される

命のための栄養

現在、栄養改善のための世界的な取り組みが実施されており、すべての人に果たす役割があります。栄養不良をなくするためには、良い保健システムだけではなく家庭や地域の人々が取り組む力をつける必要があります。家庭や地域を支えるための現実的な方法を紹介します。

	妊娠中	0~6カ月	6~24カ月
 子育てを担う人の知識 子育てを担う人は、栄養価の高い食べ物や、子どもの世話について知識を身につけること	出産前ケアについて知識がありケアを受けている女性が、赤ちゃんの栄養についても基礎的な知識を身につけること	母親が、早期かつ完全母乳による育児を理解していれば、母親自身と子どもたちの健康が改善されます	発育不全の子どもを減らすために、子育てを担う人が、子どもたちに与える補助食の適切な量と質を理解すること
 食料の確保 子どもたちとその家族は、適切かつ十分な食料を継続的に確保できること	母親が地域で入手できる食材により栄養のある食事をとることが、子どもの栄養につながります	完全母乳による育児を続けるため、子育て中の母親たちが、栄養のある食べ物を継続的に摂取すること	家庭で食の安全を改善するため、家庭菜園により、幼い子どもたちに栄養のある食料を継続的に提供すること
 家族と地域の参加 子どもたちの栄養と保健に影響するすべての決断に、すべての関係者が関わること	家族と地域の人々が、妊産婦や子どもに害を及ぼすしきたりや習慣にとらわれることなく、妊産婦が栄養のある食料を食べられるように支えること	母親支援グループが、母乳による育児の実施方法を含めて必要な栄養についての助言を行うこと	幼い子どもたちの生活において重要な役割を担うため、父親と祖母が、栄養プログラムの一部に参加すること
 保健システムと地域の連携 保健と栄養サービス改善のために、保健サービスを家庭とコミュニティレベルに拡大する方法を見出すこと	保健スタッフが妊産婦に必要なサプリメントと栄養に関するアドバイスを妊産婦に知らせること	保健スタッフが、母親支援グループへの研修と見守りとともに病気を予防するための助言を行うこと	保健スタッフが、人々が厳しい栄養不良の状況にある地域の活動を支援し、緊急に保護が必要な子どもたちを識別すること